

令和7年3月（第5回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和7年3月25日（火） 午後2時00分～午後4時25分

2 場 所

光市教育委員会 1階ホール

3 出席者

伊藤教育長、寺崎委員、平岡委員、武田委員、岩佐委員

4 事務局

教育委員会事務局: 升教育部長、加川教育部次長兼教育総務課長、吉永ひかり学園推進課長、原田学校教育課長兼部活動改革推進室長、田中学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、三好スポーツ推進課長、眞嶋図書館長、高橋学校給食センター所長、秋友教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 令和7年度人事異動について
- (2) 令和6年度光市スポーツ優秀選手表彰について
- (3) 中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの閉講式について
- (4) ご寄附の報告について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第6号 令和7年度光市教育委員会重点施策について

(ア) 概 要

令和7年度光市教育行政重点施策を定めるため、本案を提出。

(イ) 内 容

施策の概要について、各課より説明。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

統合型校務支援システムの導入から1年が経過したが、先生方は効率化・負担軽減等についてどのように感じているか。

回 答

文書作成がシステム化され整理されていると感じる面はあるが、現在は新システムに慣れるための移行期であるため、運用で生じた学校からの疑義に対応しながら進めている状況である。

② 意 見

地域の行事に参加している児童生徒の割合という指標について、策定時は65.5%、

近況値は 63.4%、目標値は 80%となっている。第 2 次光市教育大綱には、幼児期から 18 歳までを見通した次世代型コミュニティ・スクールの進化が掲げられているが、この指標を高めるために、今後どういった取組を考えているか。

回 答

近況値は、全国学力・学習状況調査から出典しているが、令和 6 年度は質問項目がなかったことから、令和 5 年度のもを掲載している。参考までに、令和 6 年 10 月に行われた定着状況確認問題の同旨の質問では、小中学校あわせて 73.3%であったことから、策定時から回復していると考えます。

今後も地域の活動に参加することの意義として、子どもたちが企画・運営段階から参加する取組を増やしていくことで、さらに高めていきたいと考えています。

意 見

近況値を令和 5 年度の数値で据え置いているのであれば、注釈を入れるなど状況がわかるようにしていただきたい。数値が減少するのであれば、地域や学校別の状況を分析し、良い取組を共有することで目標値を達成できるよう取り組んでいただきたい。また、大和小学校では、これまで各校で参加していた地域行事を共有し、子どもたちが参加しやすいように学校の年間行事予定を調整することも検討していただきたい。

回 答

地域行事の参加については、準備委員会の地域部会で協議してきたが、例えば東荷神舞や石城太鼓は大和小学校の音楽のカリキュラムに入り、子どもたちが学ぶ機会を得ることができるが、興味を持てば、課外活動として学ぶことができるようになる。そうすることで、東荷、塩田のこども以外も伝統文化を引き継いでいくことができるようになると考えています。

また、地域の祭りや行事との関わり方として、大和小の子どもたちに声かけをして、参加してもらうなど、学校と地域が協力して子どもたちへの周知に取り組んでいきたいと考える。

意 見

東荷小学校の閉校式に出席したが、子どもたちが東荷の伝統を受け継いでいきたいという意欲が伝わる閉校式だったので、子どもたちの気持ちをしっかりと守っていただきたい。

③ 意 見

生成 A I の教育的利用、校務の効率化等について調査研究が行われており、ベースとなるルールがあるとは思いますが、それに加えて各市町の教育委員会の裁量で運用できる余地があるのか。

回 答

生成 A I の活用についてはまだ研究段階だが、山口県が「生成 A I を活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業」として、生成 A I 学習アシスタントアプリを全県の

中学校２・３年生を対象に導入するという動きがある。市の独自導入までは研究が進んでいないが、既存のものを活用しながら、今後の整備について検討していきたい。

④ 意 見

特別支援教育推進事業に関連して、来年度の福祉保健部の新規事業で、家庭環境が原因で日常生活に支障をきたす子どもとその保護者に対する支援を目的とした「きゅっとサポーター」制度があると聞いている。その中に通学・通園支援や学習サポートがあることから、連携をとって子どもや家庭の支援に取り組んでいただきたい。

回 答

「きゅっとサポーター」は特別支援教育あるいは不登校支援にもかかわってくるところがあるので、連携を図りながら進めていきたい。

⑤ 意 見

文化財の保存・活用について、虹ヶ浜菊の案内看板を設置するとのことだが、看板にスポンサー企業を募り、「虹ヶ浜菊の保存活動をする子どもたちを支援します」といった広告枠をつけ、活動の原資とすることはできないか。

回 答

周南市において文化財看板に企業広告が掲載されたものを見たことがあるが、文化財看板の統一レイアウトを作成したことから、その様式をただちに変更することは難しいと考えている。

意 見

子どもたちの活動に対するものであれば、多くの企業が賛同してくれると思うので、企業広告の導入について検討いただきたい。

意 見

文化財看板で、他県で教育委員会と書かれたものを見かけた。学校教育以外でも、文化財保護などの教育委員会の業務を知ってもらう機会だと思うので、企業広告に関連し、看板設置に関する意見として発言させていただく。

⑥ 意 見

地域の行事やお祭りに積極的に参加している人の割合という指標があり、まちづくり市民アンケートの数値が計上されている。アンケートの対象者が子どもたちなのか全年齢なのか不明だが、積極的に参加という部分の考え方について教えていただきたい。

回 答

積極的という部分は、アンケートの設問がこのように表記されていることによる。また、まちづくり市民アンケートは、一定数の対象者を無作為抽出しているため、対象者を特定して実施しているものではない。

⑦ 意 見

今年度からやま学の日が開始されたが、光市の実態を教えてください。

回 答

やま学の日を活用状況については、令和7年3月時点で小学校 130 件、中学校で 24 件の報告を受けている。内容としては、史跡探索や萩焼の体験などで、非常にいい経験になったという感想があがっているが、大規模校のほうが児童生徒数に対する割合として若干多い程度で、学校ごとの差はあまりないと認識している。

意 見

やま学の日を使って休みをとった場合、学習面でのフォロー体制は検討されているか。

回 答

やま学の日を取得した場合、欠席扱いにはならないが、学習面でのフォローは通常の欠席に対するフォローと同様の対応となる。

⑧ 意 見

総合型地域スポーツクラブについて教えていただきたい。

回 答

各地域においてスポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たすことを目的とする団体で、光市ではNPO法人ひかりクラブが設立されている。

⑨ 意 見

コンシェルジュ図書館とはどういうものか。

回 答

利用者の疑問や相談を解決するため、参考となる資料を案内するレファレンスサービスの向上を図ることを目標としたもの。

意 見

大和分館を利用した際、利用者が少なく、場所がわかりにくい、利用者が落ち着いて利用できる環境ではないという印象だった。市民が利用しやすいよう環境整備等に努めてもらいたい。

回 答

大和分館はコミュニティセンター内に併設される小規模な施設だが、曜日や時間帯によっては子ども連れを含め、多くの方が利用している。運営面においては、コミュニティセンターと連携して快適な読書環境の創出に努めていく。

⑩ 意 見

スポーツ施設の多くは教育委員会管理となっており、学校も含めて防災拠点となることが多いと思うが、防災拠点としての運営は防災所管が対応することになるのか。防災拠点として必要な物資の調達に関する予算は、防災所管で計上されているのか。

回 答

学校の体育館等は災害時の避難所となっており、基本的な運営は教育委員会の職員で行っている。資材等必要な物品については、防災所管から別途準備されるため、教育委員会予算には計上されていない。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 議案第 7 号 光市学校施設使用規則の一部改正について

(ア) 概 要

規則の一部改正について、事務局より説明。

(イ) 内 容

学校施設使用に係る申請書兼許可書を別々の様式に見直すため、所要の改正を行うもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

ウ 議案第 8 号 光市立学校管理規則及び光市立学校の通学区域に関する規則の一部改正について

(ア) 概 要

規則の一部改正について、事務局より説明。

(イ) 内 容

大和 4 小の再編に伴い、小中一貫教育に関する表、小学校の通学区域の表を見直すとともに、押印廃止に伴い、各種様式の押印欄を削るなど、所要の改正を行うもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

エ 議案第 9 号 学校運営協議会委員の任命について

(ア) 概 要

学校運営協議会委員の任命について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

オ 議案第 10 号 光市スポーツ推進委員の委嘱について

(ア) 概 要

光市スポーツ推進委員の委嘱について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

カ 報告第 7 号 光市学校教育法施行細則の一部改正について

(ア) 概 要

規則の一部改正について、事務局より説明。

(イ) 内 容

卒業証書の契印の押印を廃止するため、所要の改正を行ったことを報告するもの。

キ 報告第 8 号 令和 6 年度光市一般会計補正予算（第 7 号）について

(ア) 概 要

令和 6 年度光市一般会計補正予算（第 7 号）について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

意 見

小中一貫ひかり学園推進事業の手数料 560 万円について教えていただきたい。

回 答

やまと学園の施設整備にあたり、国が老朽化施設で危険建物と認めた場合、補助対象となるが、大和中学校が該当するか調査するもの。

ク 報告第 9 号 令和 7 年第 1 回光市議会定例会一般質問要旨について

(ア) 概 要

令和 7 年第 1 回光市議会定例会一般質問要旨について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

意 見

H I K A R I リレーマラソンについて、参加チーム数は初回以降増加しており、今回は 64 チーム、市外からの参加者も見られ、盛り上がった大会だったと感じている。答弁の中で若年層の参加が芳しくないという点があったが、どの世代をターゲットにしていたのか。また、開催経費が増加傾向という点は、令和 5 年度予算は 150 万円、今年度は 100 万円となっており、経費は減少傾向にあるという話だったと思うが状況を確認したい。

回 答

若年層、具体的には中学生の参加については、今年度も参加者数が伸びなかったという状況であった。また、経費については、令和5年度の150万円は初開催の際の横断幕や登り旗、コーンといった備品消耗品類を買い揃えたものであり、今年度の100万円は、参加者のタイムを測定するためのマイクロチップの使用等の委託料となっており、その経費は次年度以降も増加する見込みとなる状況。

今回、最終的な参加者は充実していた点もあるが、内容を総合的に判断し、一旦立ち止まるということとしたものの、HIKARIスポーツフェスタ等、市民がだれでも参加できるイベントの内容をさらに充実させたいと考えており、他のイベントとあわせて総合的に大会の在り方等について検討していきたい。

意 見

今後も費用面の検討や内容の充実など、市民の方が楽しめるスポーツイベントを開催いただきたい。

ケ 報告第10号 区域外就学の承認について

(ア) 概 要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内 容

区域外就学の協議及び申請のあった13件を承認したことについて報告するもの。